

(2) 単元指導計画の作成と検証

新しい様式の単元指導計画（令和2年度～）

単元指導計画

※資料！

単元	単元目標	学習指導要領	評価規準	授業評価
単元1	単元目標1	学習指導要領1	評価規準1	授業評価1
単元2	単元目標2	学習指導要領2	評価規準2	授業評価2
単元3	単元目標3	学習指導要領3	評価規準3	授業評価3
単元4	単元目標4	学習指導要領4	評価規準4	授業評価4
単元5	単元目標5	学習指導要領5	評価規準5	授業評価5

- ・単元のねらい、単元の構成
+
- ・学習指導要領との関連
- ・育てたい生きる力の5要素 (※1)
- ・**評価規準**
- ・**授業評価** ← 授業作りの5つの視点 (※2)

観点別評価を踏まえた

学習のまとめりごとに
授業改善のサイクルを！

作成の仕方が分からない
記入例が必要
新たに記述することが多い

- ・グループ研での作成・検証
- ・見本の作成 など

新学習指導要領の育成すべき3つの資質能力の柱と、過去の本校の研究成果を踏まえた、新しい単元指導計画を、実際に運用しながら検証することで、教科指導における観点別評価を踏まえたPDCAサイクルと授業改善が進むようにしたい。

※資料Ⅰ「単元指導計画」様式

北海道真駒内養護学校

2022/02/25

単元指導計画

学習名（教科名）	学部	部	学年	年
グループ／教育課程	指導時期	月	指導コマ数	コマ
単元・題材名	学習指導要領との関連		教科名	段階
		内容		
育てたい力「生きる力の五要素」 ※重視する力を網かけ				
きめる力	見る聞く感じる力	伝える力	つながる力	やる気元気

●単元のねらい及び評価規準

H21～23本校研究

単元（題材）のねらい		
観点	段階	段階
知識及び技能		
思考力、判断力、表現力		
学びに向かう力、人間性等		
単元（題材）の評価規準		
観点	段階	知小・2段階
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

資質能力の
3観点

北海道真駒内養護学校

2022/02/25

●単元の構成及び評価の計画

○：指導の重点及び評価の観点

次	日 時	おもな指導内容	知	思	主

●児童生徒の学習評価

<個別の評価>・・・（別紙に記入）

●授業評価

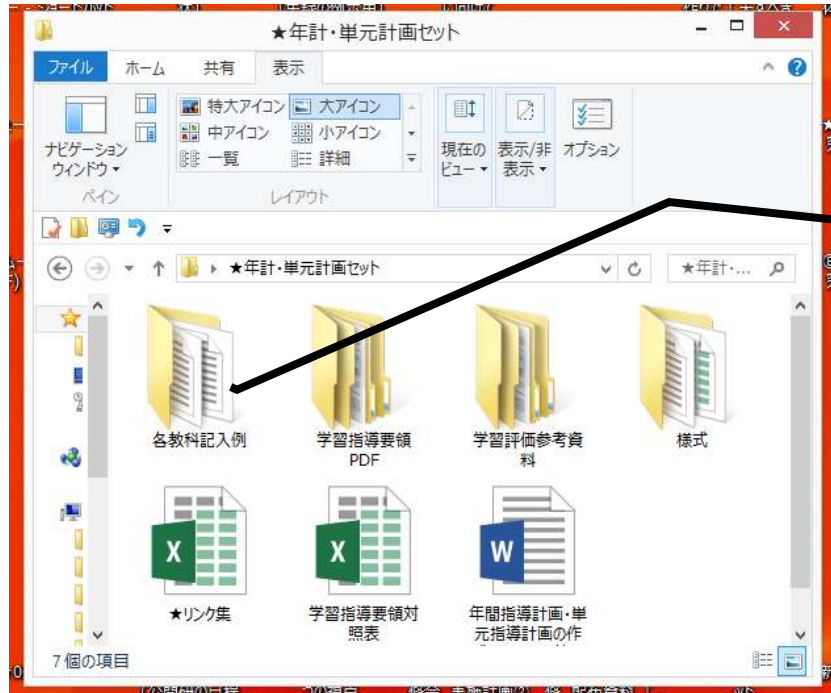
<授業作りの5つの視点>

◎良い ○おおむね良い △指導改善を要する

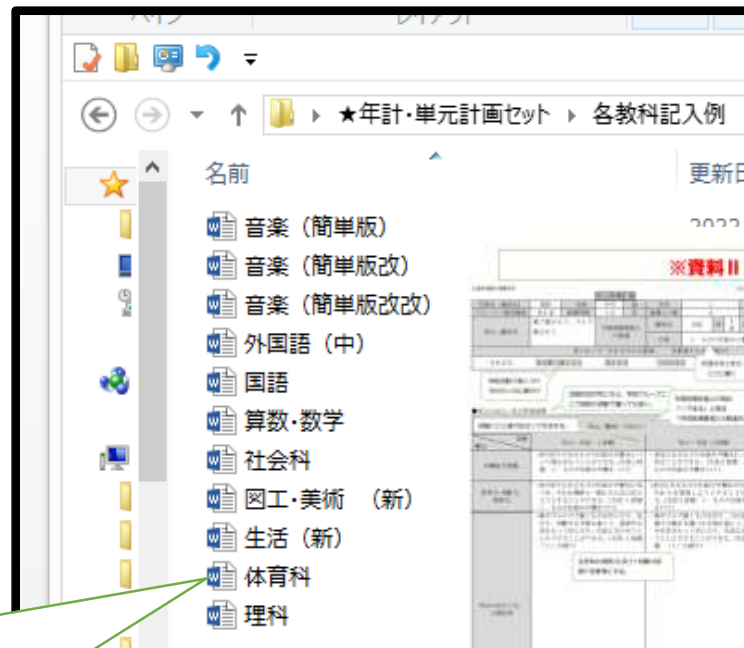
授業評価の視点	内容	評価	課題と改善策
物理的環境支援			
補助的手段			
人的支援			
学習機会			
多様な評価			
次年度に向けて	単元・教材	よい ・ 変更が必要	時数
		よい ・ 変更→（ ）	

授業作りの
5つの視点
（H27本校研究）

【年計・単元計画記入セット】



各教科記入例



※資料Ⅱ



今年度作成。
各教科の記入例を各グループで作成。
校内サーバーで共有し、次年度から活用。（記入例
を参考に単元指導計画を作成、備蓄していく）

※資料Ⅱ「単元指導計画」記入例

単元指導計画

学習名(教科名)	理科	学部	中学	部	学年	1	年
グループ/教育課程	知1目	指導時期	10	月	指導コマ数	3	コマ
単元・題材名	風で動かそう。ゴムで動かそう	学習指導要領との関連	教科名	生活	科	I	段階
			内容	シ	ものの仕組みと働き		
育てたい力「生きる力の五要素」							
きめる力	見る聞く感じる力	伝える力	つながる力	内容のまとまり	ことに書く		

学習活動で身につけさせたい力に結びつけ

活動内容が怪しなら、学習グループごとで複数の段階で書いてもいい。

年間指導計画より転記「～できる」と表記「学習指導要領との関連も転記

●単元のねらい及び評価規準

段階ごとに線で区切って作成する。

単元(題材)のねらい

学習指導要領中の知識・技能

観点	段階	知小・生活・1段階	知小・生活・2段階
知識及び技能		・身の回りのあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。(生活1段階 シ ものの仕組みや働き(イ))	・身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。(生活2段階 シ ものの仕組みや働き(イ))
思考力、判断力、表現力		・身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。ことができる。(生活1段階 シ ものの仕組みや働き(ア))	・身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとする。ことができる。(生活2段階 シ ものの仕組みや働き(ア))
学びに向かう力、人間性等		・風やゴムの力で動くものを作ったり、見たり、体験する学習を通して、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりすることができる。(生活1段階 (1)目標ウ)	・風やゴムで動くものを作り、力の伝わる様子や動きを調べる学習を通して、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりすることができる。(生活2段階 (1)目標ウ)

生活科の目標13及び1段階の目標ウを参考にする。

生活科の目標(3)及び1段階の目標を参考にする。

単元(題材)の評価規準		
観点	段階	
		知小・生活・1段階
		知小・生活・2段階
知識・技能		・身の回りのあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。
		・身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。
「知識」と「技能」に分けない		単元のねらいの文末を「～に気付いている。」「関心を持っている」などに変える。
思考・判断・表現		・身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒に考えている。
		・身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらについて考えている。
「思考・判断」と「表現」に分けない		文末を「～について考えている」などに変える。
主体的に学習に取り組む態度		・風やゴムの方で動くものを作ったり、見たり。体験する学習を通して、意欲や自信をもって学ぼうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。
		・風やゴムで動くものを作り、力の伝わる様子や動きを調べる学習を通して、意欲や自信をもって学ぼうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。

文頭を「〈学習活動を入れる〉を通して～」とする。

生活科のねらいなので、「知識と技能」、「思考力・判断力・表現力」は分けなくて良い。

※理科の評価規準では「知識・技能」は分ける。「思考・判断・表現」、「主体的に～」は分けない。

理科の評価規準では・・・

「知識」は文末を「～を理解している」

「技能」は文末を「～を身につけている」

「思考・判断・表現」は文末を「～表現している」

「主体的に～」は、学習指導要領の「(2)内容」に育成を目指す資質・能力が示されていないことから、「評価の観点及びその継承」の「…についての事象・現象に道んで関わり、学んだことを学習や生活に生かそうとしている」を用いて作成する。

どの観点で評価するのかわかるように○をつける

●単元の構成及び評価の計画

次	日時	おこな指導内容	知	思	主
1	10月6日(水)	「風で動かそう」 ・かざぐるま。風、ヨットカーがそれぞれどうすれば動くかを工夫しながら体験する。	○	○	
2	10月14日(木)	「ゴムで動かそう」 ・ゴムロケット、ヨーヨー。ゴム自動車それぞれどうすれば動くかを工夫しながら体験する。 ・ゴムで動く自動車を作る。	○	○	
3	10月21日(水)	「風で動かそう。ゴムで動かそうまとめ」 ・前回までの復習 ・「ゴム自動車パーキングゲーム」に取り組む。	○	○	○

※ 段階ごとに指導内容が重なる場合は別紙で作成する。

●児童生徒の学習評価 ＜個別の評価＞・・・(別紙に記入)

授業評価	内容	評価	授業後に記入
授業評価の観点	内容	評価	課題と改善策
物理的・環境的・経済的・社会的・人的支援			
学習機会			
多様な評価			
学年・学期に内	単元・題材	よい	変更が必要
けて		よい	変更→()

変更が必要に○がついた場合は、その理由を課題と改善策に記入する。